

ちくさんスナップショット

平成 25 年 11 月 第 30 号 株式会社富士飼料

【継続で畜産物アピールしましょう】

TPP 交渉の年内妥結が噂されるなど、懸案事項が迫ってきています。国内畜産産業及び飼料産業に影響を与える事が避けられそうもなく、国内畜産生産の縮小、飼料需要の減少が進みそうな情勢です。飼料業界への影響は大きく、業界の再編成が必至となる事でしょう。

農水省発表の統計では、2011 年度の農業・食糧関連産業の国内生産額は 94 兆円強。これは全経済活動の 10.5%で、うち農業部門は 9 兆 4 千億、畜産部門は約 3 兆円との事です。国内畜産を守れ！と、国産を選んでくれる消費者がどれくらいいるのか、量販店が価格度外視して選択してくれるのか。。。安心安全を求めてはいるものの、厳しい選択です。我々にできるのは、畜産物の草の根的な PR や啓蒙。機会があれば積極的に外に向かってアピールしていきましょう！

【担当：二瓶洋一】

飼料をめぐる情勢

国内の配混合飼料生産量は約 2,450 万トン/年です。その飼料自給率は 25%、つまり、原料の 75%は輸入に頼っています。この中でも割合が大きいのはコーンで、なんと輸入コーンの 94%は米国産です(H21 年度実績)。その為、毎年米国のコーン生産動向が注目されるのです。今年の米国産コーンは史上最高の生産量になる見込みですが、生産農家の安値売り渋りと慢性船混み状態から、楽観視はまだできません。 【二瓶洋一】

【酪農】 エネルギー摂取量を高める工夫

最近の研究では、トウモロコシなどのでんぷん源の代替として糖の利用が有効であると言われています。糖は嗜好性が良く飼料摂取量を増やすだけでなく、でんぷんに比べルーメンアシドーシス起こしにくいことが分かっています。

糖分含量が異なる TMR を分娩後 4 週間給与した試験では糖分が多い TMR の牛群の方が乾物摂取量とルーメン pH が高く乳量とエネルギーバランスは改善される傾向にあったとの結果でした。泌乳初期には糖蜜などを添加するのも良いとのこと。

弊社では扱いやすい乾燥粉末糖蜜飼料「ドライモラセス」も扱っております。是非、一度お試しください。

【宮城県南養牛担当：佐藤研治】

【養豚】 第 99 回日本養豚学会大会へ

去る 10 月 10 日に仙台市民会館小ホールに於いて開催された日本養豚学会大会へ参加して参りました。研究発表からランチョンセミナー、公開シンポジウムと大変内容の濃い大会で沢山の関係各所様おいでになられました。

シンポジウムテーマ、「我が国のこれからの種豚改良について考えよう」は、種豚改良を軸に、日本の養豚が世界に進出する為に受精卵移植の現在の技術から育種化、一腹記録、トレーサビリティ、品質の徹底追及などを考え、国外のニーズに答える養豚を目指そうというものでした。

今後 TPP 参加、飼料原料高騰、豚価の低迷により先の見えない状況が続いているのは間違いありませんが、一営業マンとして様々な講演などに参加し情報の提供発信を目指します。各メーカー、研究所に於いても農場の改善提案と飼料以外の事でも協力を仰ぎます。

【宮城県北養牛養豚担当：松浦卓也】



蔵王アップル、雪対策で壁を張りました！